



看護部より

こんにちは看護師の鈴木です。今回は、歯周病についてお話しします。

歯周病は、糖尿病合併症の1つである事をご存知ですか。

糖尿病の患者さまは、唾液の分泌が少なく、プラーク(歯垢)がつきやすくなります。

その為、健康な人の2~3倍かかりやすくなります。

また、免疫機能の低下で細菌に対する抵抗力が低く、歯周病が悪化しやすくなります。

しかし、歯周病の治療で糖尿病が改善します。

歯周病の予防には、プラークを取り除くことが大切です。

ブラッシング 歯間部清掃 マウスウォッシュ

生活習慣を見直し、歯周病の予防を。

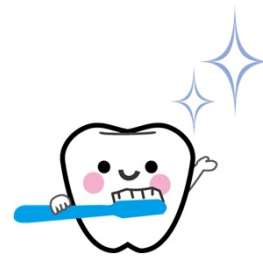
入れ歯はいつも清潔に 禁煙を心がけて 口の中の異常を感じたら早目の歯科受診を。

歯科受診時の注意

糖尿病手帳を持参し、糖尿病であることを伝えましょう

飲んでいるお薬を伝えましょう

心筋梗塞などの合併症があれば、症状を伝えましょう



検査部より

臨床検査技師の宮本です。ポカポカと暖かい陽気と共に特に花粉が舞う季節となりました。

花粉症の症状として、くしゃみ・鼻づまり・目の痒みがあり、これを4大症状といいます。

厚生労働省の”鼻アレルギー診療ガイドライン”より

花粉症状に注意

飛散の多い外出は控える

飛散の多い時は、窓・戸を閉める

飛散の多い時は、外出時にマスク・メガネを身に付ける

飛散の多い時は、毛織物などのコートを避ける

帰宅時、衣服・髪をよく払い入室し、うがいをし鼻をかむ

掃除をする という7項目があり、特に が最も有効な方法です。

マスクは、ぴったり鼻と口全て覆うことのできるもの、マスクと鼻・口の間にはガーゼを挟むのも良い方法です。

メガネはできるだけ上下左右にガードがついているもの、またはレンズ部分が目全体を覆うようなものを。

自分に合った花粉対策で快適に過ごしましょう。



事務・庶務部より

事務の下釜です。

当クリニックの院内通信につきまして、今後は患者様がお持ち帰りできるポスターや情報資料としていき、ポスターや情報ホームページにも掲載していくことも検討しております。

季刊誌の為、発行予定は4月(春号)、7月(夏号)、10月(秋号)、1月(冬号)としています。

また、その間に4月～9月頃(春夏号)、10月～3月頃(秋冬号)を特集号として発行予定です。

特集号につきましては、院内にも掲示しているポスターの紹介も含めて発行していきたいと思っております。

新人紹介

4月1日より事務として勤務させて頂いている富山です。

私は、人見知りしない性格なので、患者様やスタッフの方とコミュニケーションを計り、良い関係を築きたいと思っております。

仕事は、分からない事だらけで少し不安ですが、1つ1つの事をしっかりと覚え、先輩スタッフのサポートができ、自分に任せられたことは責任をもってスムーズに業務をこなすことができるようこれから精一杯頑張っていきますのでよろしくお願いします。



事務として当院で働くことになりました、酒井です。

自分は、三年間陸上部で活動していましたので、体力には自信があります。女性職員の方が多く、男手が必要な時もあると思っておりますので、そういう時はお気軽に声をおかけください。

まだまだわからないことだらけで、ご迷惑をおかけするかと思っておりますが、誠心誠意頑張らせていただきますので、よろしくお願い致します。



診療時間・休診日

診療時間・休診日	月	火	水	木	金	土
午前(9:00～12:30) (予約受付時間 12:00まで)						
午後(14:30～18:30) (予約受付時間 18:00まで)				/		/

【検査予定表】

	月	火	水	木	金	土	日
頸部血管エコー			午前				休診
胸部レントゲン			必要時				
心電図			必要時				
ABPI			必要時				
栄養指導			随時				